

## ◆ 巻 頭 言

平成27年度年初巻頭に作業エリアの手入れ順番を明記させて頂きました。  
以下はその時の明記したものです。

① 『管理型スギ林』適切な間伐を行い光環境の改善を行い下草が形成される杉林



② 『2階層型スギ林』林床植物が茂る、保水力に富んだスギ林



③ 『多様性保全型針広林』主木（スギ）に次ぐ次世代候補木を育成



④ 『多様性保全型落葉樹林（景観保全型落葉樹林）』

⑤ 落葉広葉樹（コナラ・クヌギ等）を主木にした里山の原風景

現在、②、③を各作業エリアで行っている最中です。冬、葉の落ちる落葉樹の実生樹を育成し針葉樹（スギ乃至ヒノキ）と落葉樹の針広混交林化を目指しています。春の新緑、秋の紅葉を意識して次世代の主木コナラ・クヌギ・ケヤキ・エノキ・ムク・カエデ等には気を配って作業に当たって下さい。 渡邊富男

## ◇平成27年12月・平成28年1月の活動予定

(※)瀬上さとやまのりの会協力作業

瀬上池の改修工事【かいぼり作業の実施】

詳細は事務局からの連絡を部会員にメールで転送致します。

12月12日(土)9時～15時半【集合場所 池の下広場】

- ・作業衣 長靴、泥汚れしても水で洗い流せる衣服(カッパ等)
- ・持ち物 お弁当、飲料水、他必需品

① 12月13日(日)9時半～14時半 ・集合場所 池の下広場倉庫前

◇作業目的:多様性保全型落葉樹林を目指した保全作業

・作業内容:いっしんどう広場エリア A2-3 スギ林の保全作業.

枯木・欠頂木・暴木・ツル植物の除伐作業

・持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、ロープ

② 1月10日(日)9時半～14時半 ・集合場所 池の下広場倉庫前

作業始め祈念式と定例作業

◇作業目的:管理型スギ林への保全作業。

- 作業内容:尾根道作業エリア E5-2 のスギの間伐作業  
スギの弱小木、罹患木、欠頂木の除伐作業  
同エリア E6-2 の実生コナラの根回し(根鉢作り)作業
- 持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品  
【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、ロープ
- 記事 自然体験教室のイベント内容を決める事

③ 1月24日(日)9時～12時 ・集合場所 公田竹林西駐車場

◇委託業務『自然体験教室』の準備作業。

- 作業内容:イベントに使用する竹材の用意。  
作品の見本品の作成。  
竹材の搬出(区役所の所定場所に保管)
- 持ち物 常備具(竹ノコ・手ノコ・ナタ)、飲料水、他必需品  
【持参備品】ダンボール箱、結束紐、

④ 1月30日(土)9時～14時半 ・集合場所 公田竹林西駐車場

◇受託業務『自然体験教室』の開催日

※ 詳細は1月24日までに連絡を致します。

(28年2月号の原稿に関し、上記活動報告は長谷川光子氏、巻頭言は佐谷光雄氏  
リレートークは田嶋泰行氏です。原稿の締め切りは28年1月30日(土)、伊藤氏迄宜しくお願い  
します。)

欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

平成27年11月8日(日) 雨天の為、「谷戸の子供教室」は延期。

参集者:山上、渡部、渡邊、佐谷、三島、高島、小宅、伊藤、浅見、野沢 計10名

小雨決行ということで、9時に集合して、雨の様子をうかがっていたが、止みそうもないので、保全作業はいっしんどう広場侵入竹の除伐、運び出しのみとする。今後の予定などを打ち合わせ。「谷戸の子供教室」は、来年1月または2月に実施予定。11月22日の保全作業場所は、旧研修地とする。「自然体験教室」は1月30日(土)予定。新年会を1月に開催予定。



アメにも…負けず集合しました

平成27年 11月 22日(日) 9:00池の下広場集合

伊藤、小宅、枝村、佐谷、高嶋、竹内、高田、三島、渡邊富、渡部 撮影者:山上

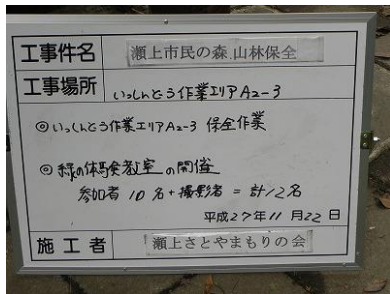
山田瑛未里さん(6年)、米田心夏さん(5年)、大井さん一家(小2)3人

大井さん一家が少々遅れたので、佐谷氏を残し、いっしんどう広場へ移動、ラジオ体操後作業開始は10:20。マークしてあったシロダモ等細めのを除伐、マンツーマン対応。大井一家も参加して体験をしていただいた。

散策路に大きく張り出した枯れた桑の木をチェーンソーを使い除伐。玉切りなど。

下草刈を常時行った。

支給のから揚げ弁当を食べたのち、工作で写真立て、どんぐりの置物などを作り、再度山へ入って杉の木一本を倒した。草地での山百合の種散布をした。



体験教室 開催しました

ファミリーでの参加です



チェーンソーが大活躍

写真立て・どんぐりの置物づくり

ヤマユリの種まき

## ◆ リレートーク

### ペット人気 今年？猫が犬派を逆転？

最近の新聞にペット人気の変化が記事に掲載されていた。

飼い主の高齢化で散歩やしつけの手間から、犬派が年平均3.2%減る一方、手間のかからなく、家に懐く猫はシルバーや単身者でも飼い易く、猫派は0.9%着実に飼育頭数が増えている。ペットフード業界社団法人の昨年調査では推計飼育数で犬が 1,035 万匹、猫は 996 万匹で、今年は猫の飼育数が犬を上回ったかもしれない記念すべき年かもしれない。

そう言えば、最近TVのCMにやたらと猫が目立つようになった気がする…。

犬が逆風になっているのは、90年代後半の小型犬ブーム時に飼い始めた犬が寿命を迎えつつある状況とも関係する。これら理由の他に、私見だが、年間飼育費で犬が猫に比べて 2 倍ちかく費用が掛かることも影響していると推測する。定年すぎると余生を賄う原資が気になってくる。ある調査では平均寿命を両方とも 15年とすると、犬の生涯費用合計は約 200 万円、一方猫の方は約 100 万円と約2倍、これらの金額は大きい。

多頭猫飼い我が家は共同購入のドライフード他に猫缶を多数購入しているが、今年初めにマグロが値上がりし、マグロ缶を買いだめしたこともある。円安と魚の乱獲が猫エサの値上がりに直結していることも頭が痛い。

野良猫ボランティアの妻の話では、最近の猫は部屋飼いすると、衛生・健康状態も良く、獣医も身近にあり15年以上、20年も長生きする“長寿猫”も増えてきた。また、身につまされる話だが、老後身边がさみしくなってきた高齢者からの里親希望が目立つようで、その方の死後、残された猫が心配で、60歳以上の希望者には里親話を断っているようだ…。

最後に一言、横浜市営斎場の火葬代は人間の方がペットの約半額と格安になっておりますので、皆様ご安心ください。

“A dog has an owner, A cat has a staff”

(犬にはご主人、猫には使用人)

以上

竹内義裕

## ◆ 編集後記

今回参加された山田さんは3年生から参加して今回4回目とのこと。

ノコギリ裁きもスピード感があって、頼もしかったです。

毎回、除伐を行っているシロダモですが、赤い実を初めてみて、図鑑で調べたところ、シロダモは雌雄異株だと知りました。ヤマユリの種まきも楽しかったです。

次回も興味を広げていろいろ学んでいきたいと思っています。(小宅)